

果樹等でマイマイガ多発のおそれ

～ 卵塊の除去とふ化幼虫の防除をしてください ～

1. 現在までの発生状況と今後の発生予想

昨年、県南部を中心にマイマイガの発生が多く、果樹園内部やその周辺にとどまらず、電柱、家屋の壁などにも多くの卵塊が見られた。

本年は春の気温が高く、幼虫のふ化が早まると見込まれ、4月下旬以降は広範囲に分散して果樹や街路樹、庭木などを食害することが予想される。

2. 防除対策

- 1) 幼虫がふ化する前の卵塊(図-1)は、あまり硬くない先が平らなもの(例:ペットボトルを切ったもの)ではがし、集めて土中に埋めるか焼却等により処分する。
- 2) ふ化して間もない小さな幼虫(図-2)は、卵塊の上にとまっている時期に、ガムテープ等に貼り付けて取り除く。このとき、ふ化幼虫に皮ふが直接触れないように注意し、ビニール手袋等をして作業する。
- 3) 発生が多く、薬剤による防除が必要な場合は、有機リン剤、BT剤、IGR剤、ジアミド系剤などから、作物ごとに本種又はケムシ類に登録がある薬剤を選んで防除する。
- 4) 果樹の開花期間中は防除を避けるか、訪花昆虫に影響の少ない剤を使用する。
- 5) 防除後も継続して園内への侵入が見られる場合は、その都度捕殺や薬剤による防除で対処する。

3. 資料



図-1 ナシ枝に産下された卵塊



図-2 ふ化直後の幼虫

【 問合せ先 】

秋田県病虫害防除所	TEL	018-881-3660
秋田県果樹試験場	TEL	0182-25-4224
かづの果樹センター	TEL	0186-25-3231
天王分場班	TEL	018-878-2251
掲載HP	http://www.pref.akita.lg.jp/bojo/	